

「原子力発電所内部情報受付窓口」への通報内容と調査結果

処理番号	H19-1	受付	H19. 6. 27	調査依頼	H19. 9. 20	報告受領	H20. 3. 31
通 報 内 容							
発生等日時	不明	発生等場所	不明				
<p>○発電所内の作業現場は、非常に暑い状況である。</p> <p>○工程の一部（全部ではない）にスケジュール的に厳しいものがあり、作業員は残業を行ったりして対応している。</p> <p>○水分を取れとか、休憩を取れとか言われるが、工程に縛られ十分に行えない雰囲気がある。</p> <p>○夏場の暑い時期については、作業環境についてより一層の配慮を払うか、工程を見直し休憩が十分取れるような配慮が必要。</p> <p>○このままでは、作業中に熱中症等で作業員が倒れ、重大な労災事故等が発生する恐れがある。</p> <p>○以前自分が働いていた会社で、朝の朝礼時に倒れて頭部を打った従業員が出た時は、以降の朝礼で椅子に着席したまま行おうという改善がおこなわれた。</p> <p>○体調の管理に気をつけてと言うが、言葉だけでなく、目に見えるような具体的な改善が図られるよう望む。</p>							

調 査 結 果
<p>○夏場の作業環境の改善について</p> <p>夏場の作業については、その作業環境の改善が重要と考え、作業員が熱中症にならないよう、協力企業とも力をあわせ、下記の取組を、順次行ってまいりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、企業の皆様の声を聞き、特に暑い作業エリアには適宜スポットクーラーを設置する等現場の環境改善を進めてまいりました。 ・定検時には、管理区域内に休憩がとれるようリフレッシュルームを設置し、スポーツ飲料を提供しており（平成11年4月～）、夏場には、屋外にも給水所を設置しスポーツ飲料を提供しております（平成13年8月～）。 ・また、当社及び協力企業で組織する安全推進協議会では、作業員への熱中症予防の呼びかけを実施すると共に、当社と安全推進協議会合同で熱中症予防に関する講演会を毎年開催しております（平成17年～）。 ・現在、特に暑さ対策が必要な1号機では平成21年3月完了目途に環境改善工事として建屋全体の給気設備を改造し、建屋の給気温度を下げるための工事を実施しております。 ・工程についてのご指摘もいただいておりますが、安全かつ信頼性が確保できるような工程の検討を進めており、今後とも取り組んでまいります。 <p>上記のように、作業環境の改善に努めており、1号機の環境改善工事が完了すると一定の改善がなされると考えておりますが、夏場の作業環境の改善については、今後も協力企業のご意見をお聞きしながら取り組んでまいります。</p>